

グリーンクラブ  
フォレスト・フォスター  
ご提案



森林は、  
未来への扉を開く鍵  
生命の源  
守り、育てましょう。  
ご一緒に...

# 「森の国」が、亡びる

日本は、急峻な山と無数の清流をもち、  
四季の変化に富んだ島国だ。  
その条件がもたらしたのが、世界でも稀な、  
豊かで多様な姿をした森林である。  
開発が進んだとはいえ、今でも国土の67%を  
森林が占めている「森の国」だ。

いや、近い将来、日本が「森の国」であるとは  
言えなくなるのかも知れない。

多くの山は緑の木々に被われているように  
見えるが、昔とは違った形での森林の荒廃が、  
全国各地で確実に進んでいるからである。

# いま、東京の森林は荒れています



崩れていく山



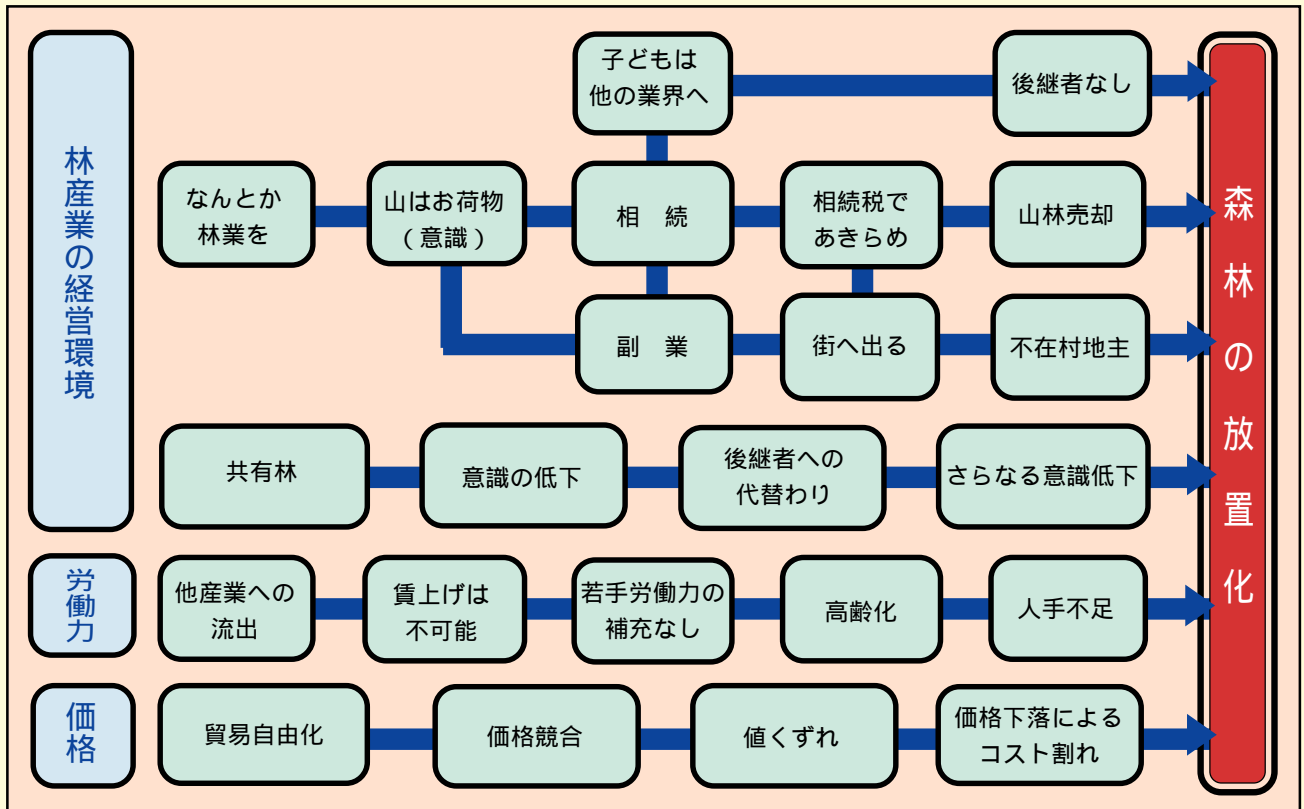
放置された  
ままの伐採地



むき出し  
になった木  
の根



山はゴミ捨て場に



日本では過去にも何度か、森林の危機を経験している。都や寺社の造営、鉄の精錬など工業の発達、戦乱などの度に、森の木が伐り尽くされてハゲ山となり、山崩れや水害が起き、農作物や漁業、下流の人々の生活にまで大きな影響を及ぼしてきた。

そしてその都度、巨額の費用と気の遠くなるような手間をかけて、苗木を植えて育て、時には厳しい掟で木の伐採を禁じて、長い時間をかけて森林を再生してきたのである。

何故なら、人々は森林を失うことの恐ろしさを、身をもって知っていたからであろう。世界中で幾多の文明が、周辺の森林の消滅と時を同じくして消えてきたが、日本は何度もその危機に直面しながら、森林を再生させることによって、辛うじてその道を辿らずにこられた。

しかし、残念なことに、今またこの不幸な歴史が繰り返されようとしている。今度は、森林資源の過剰な消費からではなく、森林利用を放棄することによって。

# もり 東京の森林を守り、育てる人々

東京の3分の1は森林です。

私たちは、この森林を守り育て、木を活かす専門家。  
先達から受け継ぎ蓄積した知恵と技を次世代に伝え、  
21世紀の森林づくりをサポートします。

● 檜原村森林組合

● 奥多摩町森林組合



植林

● あきる野森林組合

● 青梅市森林組合



間伐

● 八王子市森林組合

● 多摩木材センター



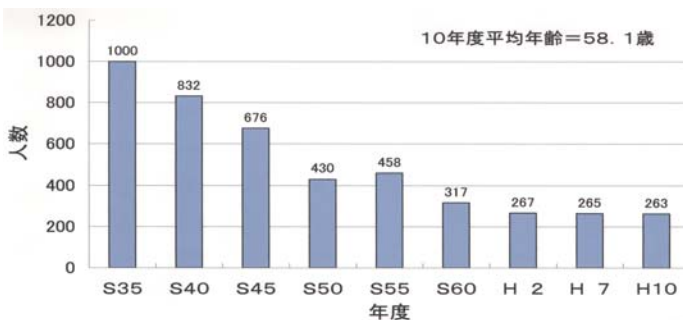
丸太磨き



原木市場

● 日の出町森林組合

東京都の  
林産業  
従事者数



目指すゴールは  
豊かで生産性の高い元気な森林  
Valuable Forest

ステップバイステップで  
“ つくるひと ”と“ つかうひと ”の  
協働作業で森林の元気づくり

raising value action  
甦れ!東京の森林

東京の森林、再生のためのアクションプログラム

# 循環資源の木の恵みをムダなく活用するために

実現させる将来森林像

## 豊かで生産性の高い元気な森林 Valuable Forest

森林の恵み

- 木質バイオマス原料の供給源
- 空気と水の源泉
- CO2の吸収と固定
- 事業所と職場の拡充
- 土砂災害・水害の防備
- 循環型社会のベース
- 保養とレクリエーション
- リラクゼーションと健康づくり
- 環境教育・野外教室
- 森林生態系の維持

山村地域の生活に笑顔がある  
さまざまな職場と事業がある  
多様な森林資源が豊富にある  
高付加価値の林産製品がある

今の私達の生活に喜びがある  
未来の子ども達に希望がある  
人と動植物の共生環境がある  
健全で豊かな地球環境がある

ステップバイステップによる森林の元気づくりの協働作業

## 共通認識と合意形成

つくるひと

Value Maker

山林の所有者  
林産業従事者  
後継者転業者

関連事業者

応分のコスト負担  
sharing

林産製品の購入で  
いろいろな寄付で  
汗と知恵の提供で

行政

多様な媒体活用によるPR/セミナー・講演  
会・展示会等のイベント/新規事業の開発推  
進/関連事業者への指導 等

良質製品の供給で  
各種事業の展開で  
森林空間の提供で

共感と納得づくり  
consent

つかうひと

Value User

山村の人たち  
まちの生活者  
東京の全住民

NPO/企業団体

現在の状況

荒廃しつつある東京の森林  
Valueless Forest

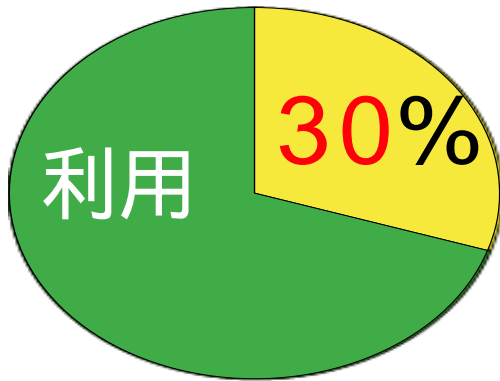
日本は世界有数の木材消費国である。熱帯林の破壊者だと非難を浴びるほど、大量の木材を世界中から輸入しており、国産材自給率は20%を下回っている。

しかし、これは国内に木が足りないからではない。逆に余っているのだが、価格や均質性で外材との競争に負けた国産材の評価が、原価を下まわるものになって、商業ベースに乗らなくなってしまったのである。国産材価格が長期的に下がりしつづけているため、外材との価格差は現在ほとんどなくなっているのだが、構造は変わらず、自給率も下がる一方である。

山の製材所では、すぐ裏にある杉檜林は、伐出コストが合わないと見向きもされず、遙々海を渡ってきた外材を挽いている。不毛な値下げ競争の結果、林産業はどん底状態。投資分を回収できないので、利益の一部を再投資することも不可能となり、必要な手入れがなされずに放置された山林や、伐った後植えない、いわゆる伐りっぱなしの山が急増している。林業そのものが国内では経済的に成り立たなくなっていて、森が荒れているのだ。

# 樹木は約30%しか利用されていない!!

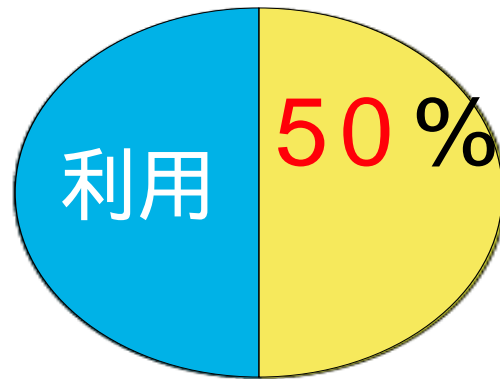
伐採



林地残材  
(端材・枝条等)  
として処分

製材

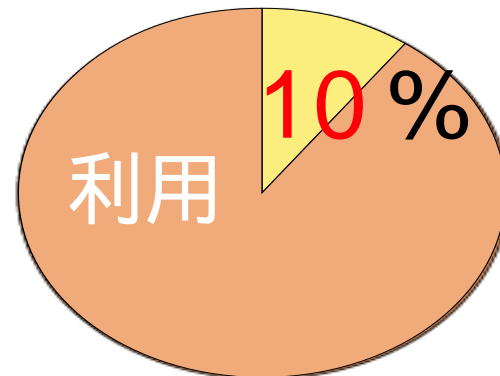
丸太を100として



製材廃材(樹皮・  
端材・おが屑等)  
として処分

建築

製材品を100として



建築時廃材  
(端材・加工屑等)  
として処分

建築材として利用されるのは

約 **30%**

大部分が廃棄・焼却

約 **70%**

林産業の新しい資源として見直す

建築用材としてみた場合のおおまかな例で、樹木の成育過程では剪定枝条、間拔材等の低利用材の発生もあります。

## 資源としての森林は、宝の山だ。

森林利用の放棄は、資本主義経済の行動基準からすれば、間違っていないかもしれない。しかし、森林が及ぼす環境的影響の大きさを考えると、木材という我が国唯一の再生可能な資源を、他の商品と同列に置いて市場原理にまかせることが、果たして本当に良いのであろうか。

今、時代の風は確実に変わろうとしている。これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄の社会を続けていくことは明らかに無理があり、環境コストや環境会計的な考えを抜きにしてこれからの社会を組み立てていくことは、不可能であろう。

未来の循環型社会を築いていく上での切り札のひとつが「森林」だ。実際、木質バイオマスを利用した新エネルギーの開発や、新たな医薬品や原材料の宝庫として、癒しと環境教育のフィールドとして、森林をキーワードにしたさまざまな取組みが世界各地で進められている。

例えば、日本と同じくらいの森林面積をもつスウェーデンでは現在、第1次エネルギーの20数%を、木質系を中心としたバイオマスから得ている。これは自国の森林資源を活用していく道を政策の柱として選び、そのためのインフラ造りに巨額の投資をしてきた結果である。国家の生残り戦略の一部に、森林を位置付けたのだ。国民の意識啓発のために、森林を舞台にした環境教育を幼児期から積極的に進めて、自然や環境に配慮した持続可能な社会を築ける大人を育てるというプロジェクトも同時に行なっている。

様々な条件は異なるが、こうした事例も未来の選択肢のひとつとして、参考になるだろう。消費者がグリーン度で商品を選択し始めているように、環境にどれだけ負荷を掛けているかで経済的評価が左右されるような時代が、もう直ぐそこまで来ている。全ての経済活動が、消費エネルギーやCO<sub>2</sub>換算で再評価されることも有り得るのだ。

日本でも、林産業を組み入れた新たな循環型社会経済システムを構築すべきではないだろうか。

# 甦れ、まほろばの森林

林業は、最も経済性が高い森林維持方法であり、木材生産という目的と共に、国土保全の側面も担う特殊な産業だ。

森林に環境という公的機能の発揮を求めるならば、そのコストは本来、全国民が背負うべきなのかもしれない。水源税、森林交付税といった議論もされているが、それとは別に、産業として自立していくためには、木材を再生産できる木材価格を実現させることが最も重要なのだと思う。

## 今ならまだ、間に合う。

古来より続いてきた森林との絆を取り戻し、未来に繋げていくには、我々のひとりひとりが自分の問題としてとらえ、そのありようを考え、如何にすれば次世代に誇れる社会を築いていけるかを議論しなくてはならない。

# 森林の恵み

木材や林産品生産と供給

木質バイオマス原料の供給

空気と水の源泉

CO<sub>2</sub>の吸収と固定

土砂災害・水害の防備

循環型社会のベース

事業所と職場の拡充

保養とレクリエーション

リラクゼーションと健康づくり

環境教育・野外教室

森林生態系の維持

森林づくりは  
国際社会から  
身近な生活者までの  
支持と共感が得られる  
グローバルな  
環境貢献活動です

# あなたの会社の森林を持ちませんか？

## 環境保全に東京の森林・数ヘクタールの貢献

### 大気保全機能

(CO<sub>2</sub> 吸収固定と酸素供給)

### 水源涵養機能

(雨水の貯蓄、洪水の防止、水質の浄化)

### 土砂流出・崩壊防止機能

(災害の縮小抑制)

### 保健休養機能

(レクリエーション、癒し)

森林の恩恵を  
受けている  
消費都市の支援

### 野生鳥獣保護機能

(森林生態系の維持)

### 環境教育機能

(野外体験学習)

荒廃している  
森林機能の向上

### 木材供給機能

(循環資源の有効活用)

### 雇用促進機能

(林産業の発展活性化)

## 緑の募金/グリーンクラブ フォレスト・フォスター(森林の里親)制度

### 森林の 保 全

- ★企業は、グリーンクラブで紹介された森林に一定期間「企業の森」を設ける。
- ★企業は、その森林の育成管理に必要な費用を、グリーンクラブに募金する。
- ★グリーンクラブは、森林を健全に維持し、保全作業を森林組合に委託する。

### 森林の 活 用

- ★企業は、「企業の森」の活用を、保全に支障ない範囲で行う。
- ★企業、社員は、活用を通して森林や自然への理解を深める。
- ★活用にあたっては、森林NPOからアドバイスや支援を受ける。

森林を守り育てます

# フォレスト・フォスター *Forest Foster*



キャラクター案

## フォレスト・フォスター宣言

森林は、地球の生命の根源です。

私たちは、

このかけがいのない森林を

地球上の生きものの

すべての子孫たちに、

健全なままで残すために

あらゆる破壊から守り、

生き生き元気に育てます。

# グリーンクラブ フォレスト・フォスター(森林の里親)

## 理 念

1. 趣旨に賛同する企業・団体が、緑の募金活動と連携して、グローバルな視野を保ちながら、緑の山林を守り育てます。
2. 森林とその地域への理解を育み、環境に負担をかけない利用を行ない、森林再生のために何をすべきかを考え、「本当に山のためになるのか」を、判断基準にします。
3. 古来からの森林との絆を取り戻して未来に繋げ、次世代に誇れる持続可能な循環型社会を築きます。

## 概 要

このシステムは「緑の募金」が、「NPO森づくりフォーラム」と連携し、賛同する企業・団体と共に組織する「グリーンクラブ」が、東京西多摩地域の森林に「企業の森」をつくり、その健全育成をはかる事業です。

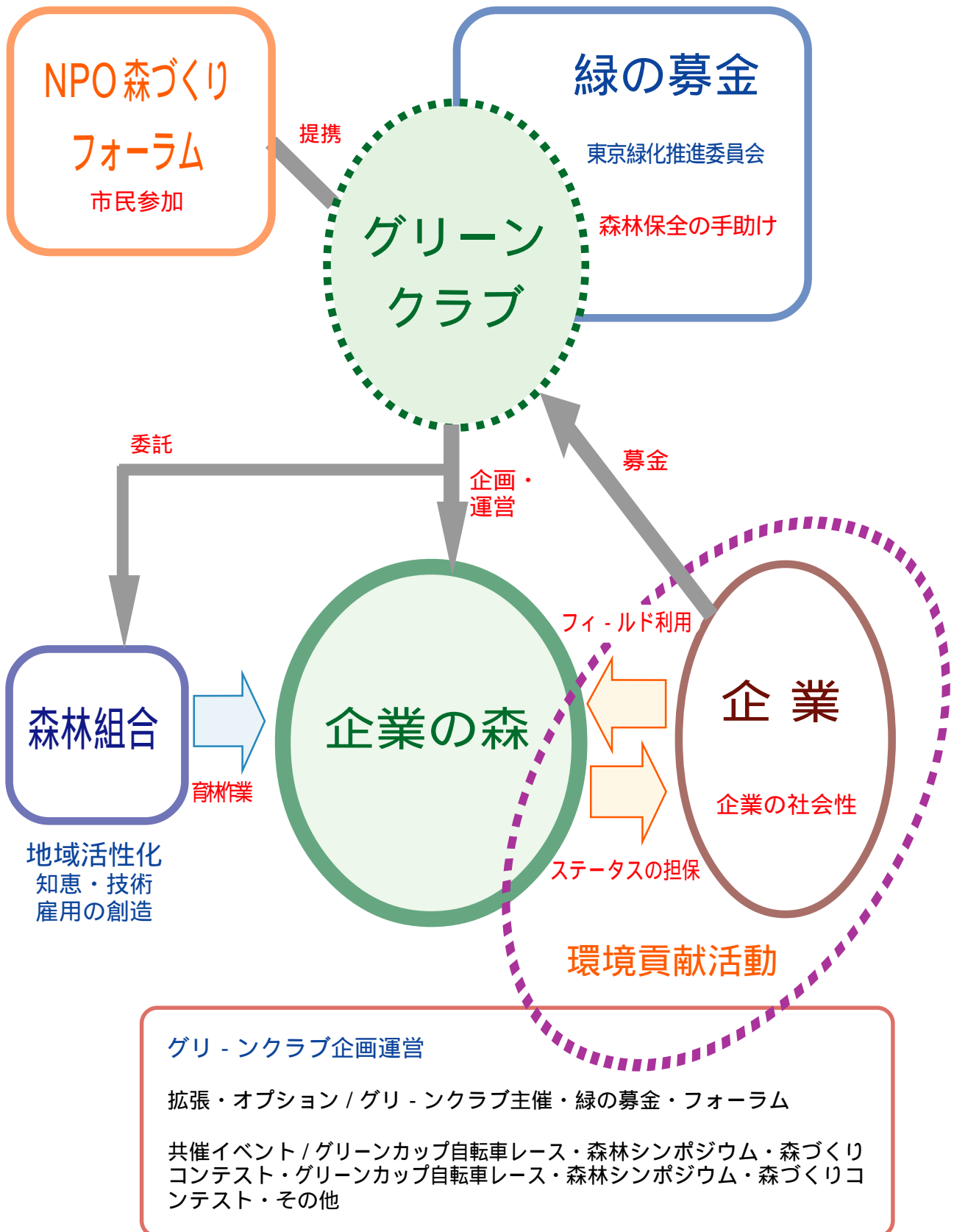
「グリーンクラブ」は、メンバーとなる企業・団体の「緑の募金」への募金（優遇措置適用）を活用し、一定区画の「企業の森」を一定期間、メンバー企業・団体の名のもとに設置して、その保全管理と健全育成はかります。

「緑の募金」は、「グリーンクラブ」メンバーに、その企業のエコ・マーケティング等を含む、全ての経営活動に利用できるステータス（有形無形の貢献事実証明）を付与します。募金は「緑の募金」活動である「国民参加による森林づくり」に活かし、東京の森林の活性化に役立てていきます。

「緑の募金」が主催する「グリーンクラブ」は、特定非営利活動法人・NPO森づくりフォーラムと連携して企画運営し、「企業の森」の管理育成等のために、森林の保全育成の実践技能の専門家集団である「森林組合」に実作業を委託します。

「グリーンクラブ」では、この活動をさらに拡大するために、国民全体のさらなる共感を得るためにイベントを協働実施して、本来活動の同様の目的実現のために社会・市民・生活者に働きかけます。

# システム図(概念図)



## メンバー企業の効果

「グリーンクラブ」メンバーとして

企業は「企業の森」を持ち、守り育てることで  
環境貢献が実現できる

企業は個別活動に加えて、さらに広く社会性  
を持った取り組みができる

企業は独自の森林育成のプログラムを持たな  
くても機能できる

企業は参加することで、大きな社会的評価と  
PR効果が得られる

## その他の利用方法

企業研修( 新入社員・管理職 )

環境教育( 森林講座・林業体験 )

森林・環境イベントの開催

シンポジウム・勉強会の開催

体験講座( 炭焼き・木工・山菜採り・椎茸栽培 )

森林NPOへの支援( 人材育成・企画応援 )

木材資源の活用( 建物・オフィス用品・エネル  
ギー )

イメージアップとエコマーケティングの展開

その他

# グリーンクラブ 会費（緑の募金）

入会金 500,000 円 / 口（入会時）

年会費 1,000,000 円 / 口

イベントについては、その都度、プロジェクトに合わせた  
予算編成を行なう。

国民参加による森林づくり

# 緑の募金

森林の整備

—力強い森づくり—

緑化の推進

—みどりの創造—

緑を通じた国際協力

—地球を救うみどりの回復—

森林のポータルサイト

思いを森林に運びます

# 税の優遇等の特典

## ( 1 ) 所得税・法人税の優遇

法人の寄付金

通常の寄付金の損金算入限度額[資本金×0.25%+所得金額×2.5%]×0.5]の2倍まで損金算入が可能となります。

個人の寄付金

一定限度額[寄付金額(総所得金額の25%を上限)1万円]までの損金算入が可能となります。

## ( 2 ) 感謝状・表彰状の贈呈

### 感謝状贈呈基準

農林水産大臣 感謝状

個人 500万円以上

団体 1000万円以上

林野庁長官 感謝状

個人 100万円以上 500万円未満

団体 200万円以上 1000万円未満

国土緑化推進機構理事長 感謝状

個人 30万円以上 100万円未満

団体 50万円以上 200万円未満

(注)

- 1.同一の個人又は団体から同一年度内に2回以上の寄付があった場合には、その合計額をもって寄付の額とします。
- 2.同一の個人又は団体から2～3年間連続して寄付があった場合には、2～3年目の寄付の額とします。
- 3.農林水産大臣感謝状については、当該寄付により紺綬褒章を受章したもの(申請中のものを含む)対象としません。

元気に、大きく、育てよう!まちの緑も山の緑も



「緑」にありがとう  
地球に代わっていのちのために

写真・「マミジロの子育て」潮田保雄/都民の森10周年記念写真コンクール入賞作品

## ご協力を!!緑の募金

歩道や公園、学校などに木を植える活動に役立てます。  
荒れているやまの森林を整備する活動を支援します。  
地球温暖化を防ぐための国際緑化事業に協力します。  
緑化の意義と大切さを広く伝える活動に役立てます。



東京緑化推進委員会事務局

〒190-0022 東京都立川市錦町2-6-5 立川三恵ビル3階  
TEL.042-529-5945 FAX.042-522-5397  
区市町村「緑の募金」担当課

森づくりが豊かな人と地域と、世界を創る

## 特定非営利活動法人 森づくりフォーラム

森づくりフォーラムは、いろいろな森づくり活動を支援し、協力しあう団体です。

### 理念

#### 森林とともに暮らす ライフスタイルをめざして...

森づくりフォーラムは、人が森林を必要とし、森林もまた人を必要とする社会を創るために、全国の人と地域を結ぶネットワークです。

人々が森林から遠ざかり、荒れた森林が広がっています。それを目の当たりにした人たちは、それを見過ごすことができず「森づくり」という活動を始めました。

「森づくり」がもたらす意味とその楽しさは、少しずつその活動を広げ、その人たちは森林ボランティアと呼ばれるようになりました。森林ボランティアは自然環境の悪化に危機感を持ち、森林の大切さと、その無限の可能性を次世代に伝えようとしています。

2000年、森づくりフォーラムは森林とともに暮らす社会の創造をめざし、特定非営利活動法人として新たな出発をしました。

森づくりフォーラムは、人が人として未来に生きるために、森づくり活動が地域に根ざした活動となり、すべての生き物がともに暮らせる社会の創出をめざしています。

### 事務局

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-41-12-501

TEL 0422-72-8217 FAX 0422-72-8218

ホームページ <http://www.jca.apc.org/morizukuri/>

## 活動

### 森づくりの情報を提供

どこへいったら、どんな森づくり活動が出来るのか。森づくり活動のフィールドや全国の活動内容の情報を、会報 NEWS森づくりフォーラム、やインターネットで提供し、活動をたい人として欲しい人をつなぎます。

### 森づくり活動を支援

グループで森づくり活動をしたいという人たちやすでに活動をしている人たちの相談に応じます。指導者や講師の派遣、アドバイスなどを行います。そして、市民団体が活動しやすいシステムづくりや環境整備を進めます。また、シンポジウムや講習会を開きたいという方には企画運営の相談に応じます。

### 森づくりの人材を養成

森林に関わるための知識や技術が必要必要としている人たちに、研修会や講習会を実施します。また、それコーディネーターやリーダーとして活躍できる人を育てます。

### 新しい森林政策を提案

日本の森林を守るためには新しい政策が必要です。森林・林業の制度・政策を根本から見直し、改善する必要があります。本会では、1997年に第一次・第二次提言を国や行政に対して行いました。さらに制度・政策の改善を要求するために調査・研究を行い2000年12月、第三次提言を行いました。

### 森林とのつきあい方を提案

人々は長い間、森林と結びついた暮らしの中で、森林を大切にしてきました。今に生きる人々と森林はどう結びついていけるのでしょうか。21世紀に生きる私たちと、森林との新しいつきあい方を提案します。

# 自治体ではもう取組み始めています

市民と行政の協働による

「森林資源の活用」

東京都農林水産振興財団

## フォレスト・ガーディアン制度

武蔵野市では、森林所有者と東京都農林水産振興財団と協定を締結し、森林資源を活用した様々な体験活動を実施しています。

これは、森林の持つ公益的機能を享受してきた都市が、荒廃の恐れのある多摩地域の森林の一部を保全するとともに、市民の森林や林業に対する理解を深め、自然環境への関心を高めることを目的としたものです。具体的には、市が森林の維持保全費用を負担することで、森林の維持保全を行い、また、森林体験講座、林業体験、レクリエーション活動など市民が森林を活用する事業を展開しています。

これらの事業を実施するときには、森林NPOからアドバイスやサポートを受けるなど、行政と民間等との協働による事業展開を図っています。

(東京都/たまの将来像2001・全国に誇れる多摩の生活と魅力 より)

も り

# 森林を知り、森林を育てて、未来に繋ごう

フォレスト・ガーディアン(森の守護者)制度



都市の市民が「自分たちの森」をもつ制度です。

市民力で、荒れている森林を蘇えらせてください。

森林は、都市の豊かな水資源を育む水源林です。

再生できる循環資源の木材の産地です。

CO<sub>2</sub>を吸着して地球温暖化を防ぎます。

ここはまだ見ぬ子孫たちから保全を託された環境なのです。

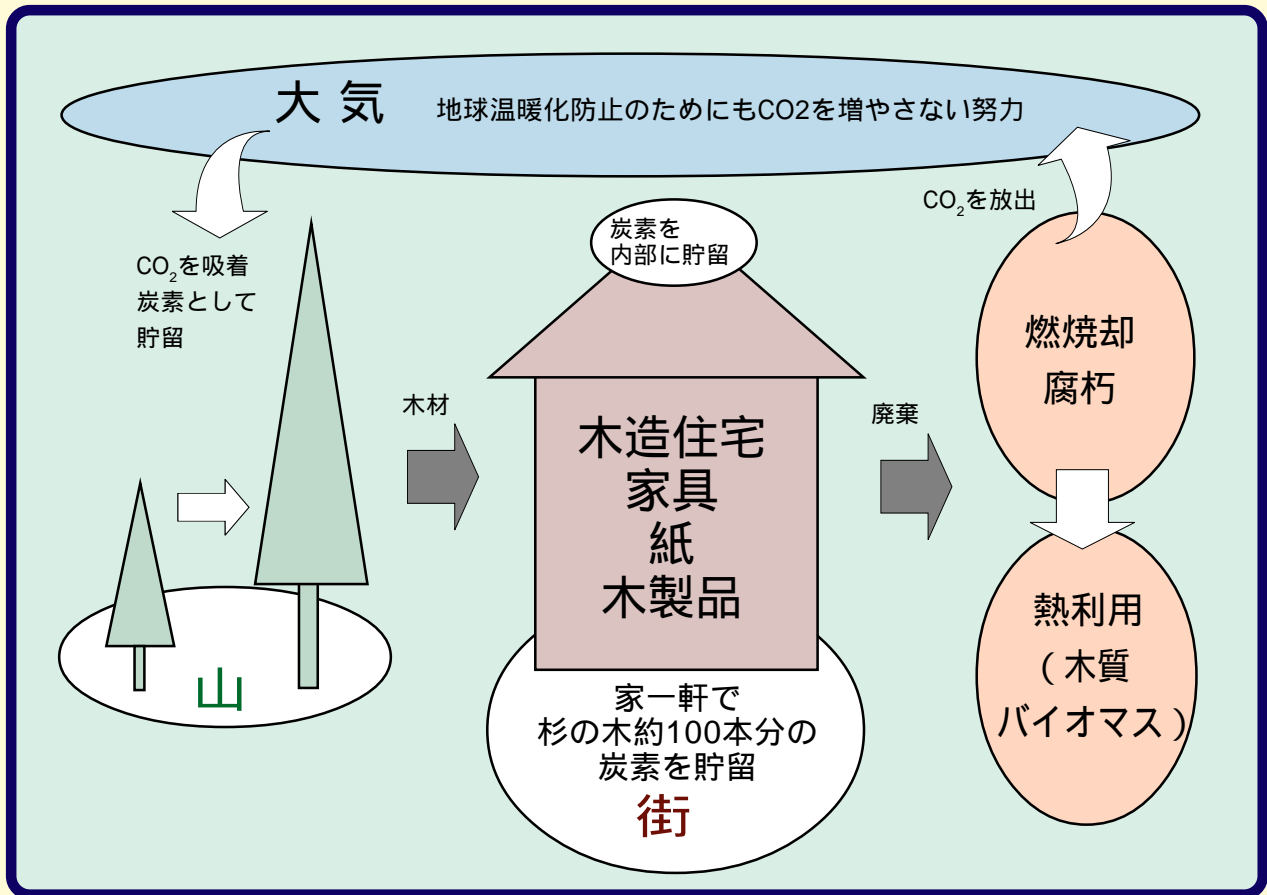
森林には、夢があります。希望と活力と充実感があります。

森を知るとは、地球を守るスタートラインです。

森の守護者、フォレスト・ガーディアンになりませんか？

# 木 造 住 宅

# 木の家は、街の森



## 持続可能な循環型社会を!!

樹木は生育の過程で、大気中のCO<sub>2</sub>を吸着して内部に貯留します。生産する過程で、大量のCO<sub>2</sub>を発生する金属製品や石油化学製品などの材料と違って、樹木は大気中のCO<sub>2</sub>増加を抑制しているのです。

樹木は伐採され、木材として住宅や家具などに使われた後でも、CO<sub>2</sub>をそのまま貯留した状態で保っています。木は炭素貯蔵庫の役割を果たしています。

特に、木材を多く使う木造住宅一軒の炭素貯留量は、家中で使われている木材全部を合わせて、杉の木約100本分にもあたります。このために木造住宅は「街の森」と呼ばれています。街に木造住宅が増えるほど、東京の森が増えたことになります。

森林の面積は現在以上に増やせません。いま増え続けている大気中のCO<sub>2</sub>をこれ以上増やさないためにも、伐採した後には植林をして、森林を有効に活用することが求められます。木造住宅をはじめ木製品を長く使用することも重要です。

木はその役目が終わった後、燃焼却されたり腐朽します。このとき他の材料と同じようにCO<sub>2</sub>を発生しますが、森林で育っている木がCO<sub>2</sub>を吸着するので絶対量の増加を抑制します。さらに、木質バイオマスエネルギーとして有効に活用する方法もあり、高効率の循環型資源として注目されています。

も り  
森林を育てる家づくり  
「東京の木で家を作る会」の家づくりステップ

### 1. 入会

会の趣旨に賛同いただき、「ユーザーの会」にご入会ください。



### 2. 勉強会イベント

林業や家づくりについて詳しく学習します。ご家族に合わせた家づくりについてのご相談にもお応えします。



### 3. 設計依頼申込み

ご希望と共に「設計依頼申込書」を事務局にご提出ください。設計事務所を選択していただきます。



### 11. 記念植樹

ご家族全員で、山に記念植樹を行い、森林を蘇生させます。その後の手入れにも参加され、森林を豊かに育てましょう。



### 4. 設計契約

設計事務所と「設計契約」を結びます。ご契約後に、基本設計に入ります。

### 5. 山・製材所訪問

インストラクターや設計事務所が山にご案内します。山作業を体験したり、製材所を見学していただきます。



### 10. 竣工・引渡し

施主、事務局、設計事務所、工務店の立ち合いのもと、竣工検査を行います。鍵をお渡しし、新居をお引渡しします。



### 8. 着工・工事

地縄を張り、建物配置を確認し、地鎮祭を行います。設計事務所の監理のもと、工務店は責任施工を開始します。



### 7. 木材注文

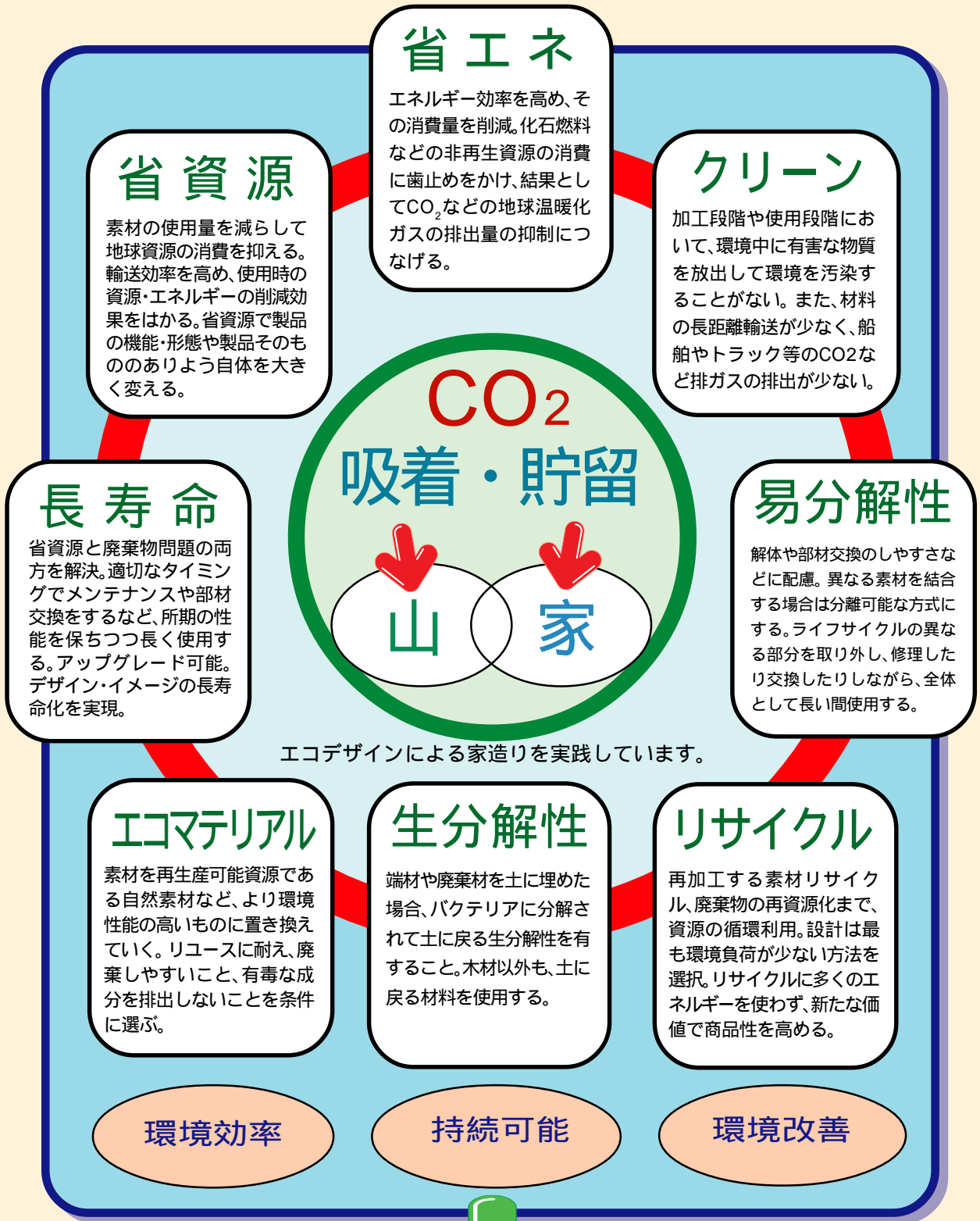
設計・見積りにもとづき、設計事務所も参加して製材所に木材を注文します。具体的な打合せを行います。

### 6. 工事請負契約

見積り、工事スケジュールの決定後、工務店と「工事請負契約」を結びます。

Think global act locally

# 地球規模で考え、地域に根ざす家づくり



東京の木で造る家・循環型社会を実現

# 木質バイオマスエネルギー

# もり 森林と木質バイオマスエネルギー

ご存知ですか?地球温暖化防止に役立つ、再生可能な自然エネルギー「木質バイオマス」。  
荒廃しつつある東京の森林を救うひとつの有効な方法として期待を集めています。



荒れていく東京の森林



木質ペレット

化石燃料は有限資源

地球温暖化防止に貢献

バイオマス利用は世界の趨勢

廃棄していた枝条や端材なども含めて、  
木の全てを利用できる木質バイオマス

枝条や木屑を粉碎圧縮成形した燃料  
「木質ペレット」を暖房等で活用

## 森林資源の特徴

- 1) 木は更新できる再生可能な資源である
- 2) 発電など高度エネルギー利用ができる
- 3) 灰などの燃焼残さも有効な資源となる
- 4) CO<sub>2</sub>吸収固定にすぐれ炭素を貯留する
- 5) 森林の育成に適した風土を活用できる

## 木質ペレットの特徴

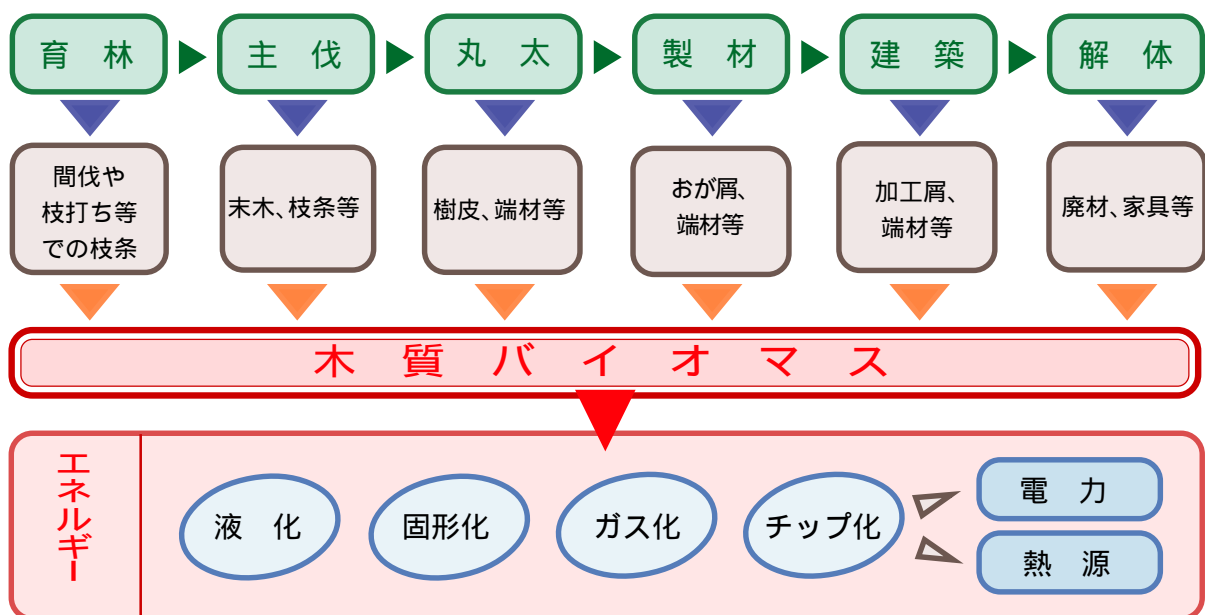
- 1) 制御しやすく安定した燃焼ができる
- 2) 燃焼時に有害な物質の発生が少ない
- 3) 空隙率が低く輸送効率が極めて高い
- 4) 貯留性にすぐれ長期の保存ができる
- 5) 優雅な「炎のくつろぎ」を満喫できる

# 再生可能な注目のエネルギー、木質バイオマス

## biomass「バイオマス」

エネルギー資源として利用できる生物体で「生物エネルギー」を指します。  
再生が可能なエネルギーのひとつで、  
高効率の燃焼による熱エネルギーが発電や暖房に活用される他、  
発酵による燃料化、石油成分抽出などに利用されます。

いままで廃棄していた枝条や端材なども含めて、木の全てを利用できる木質バイオマス



## 木質バイオマス・エネルギーの特徴

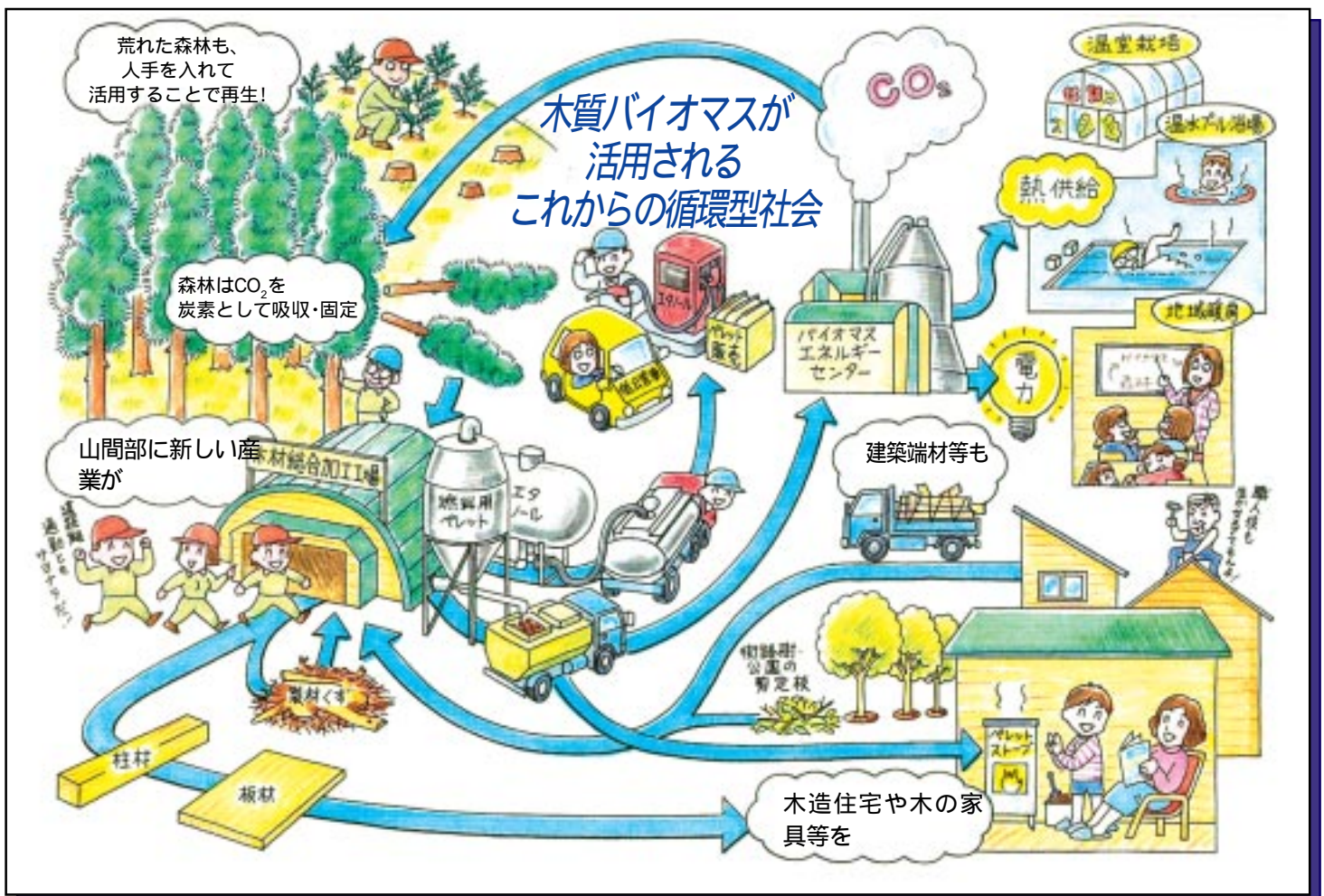
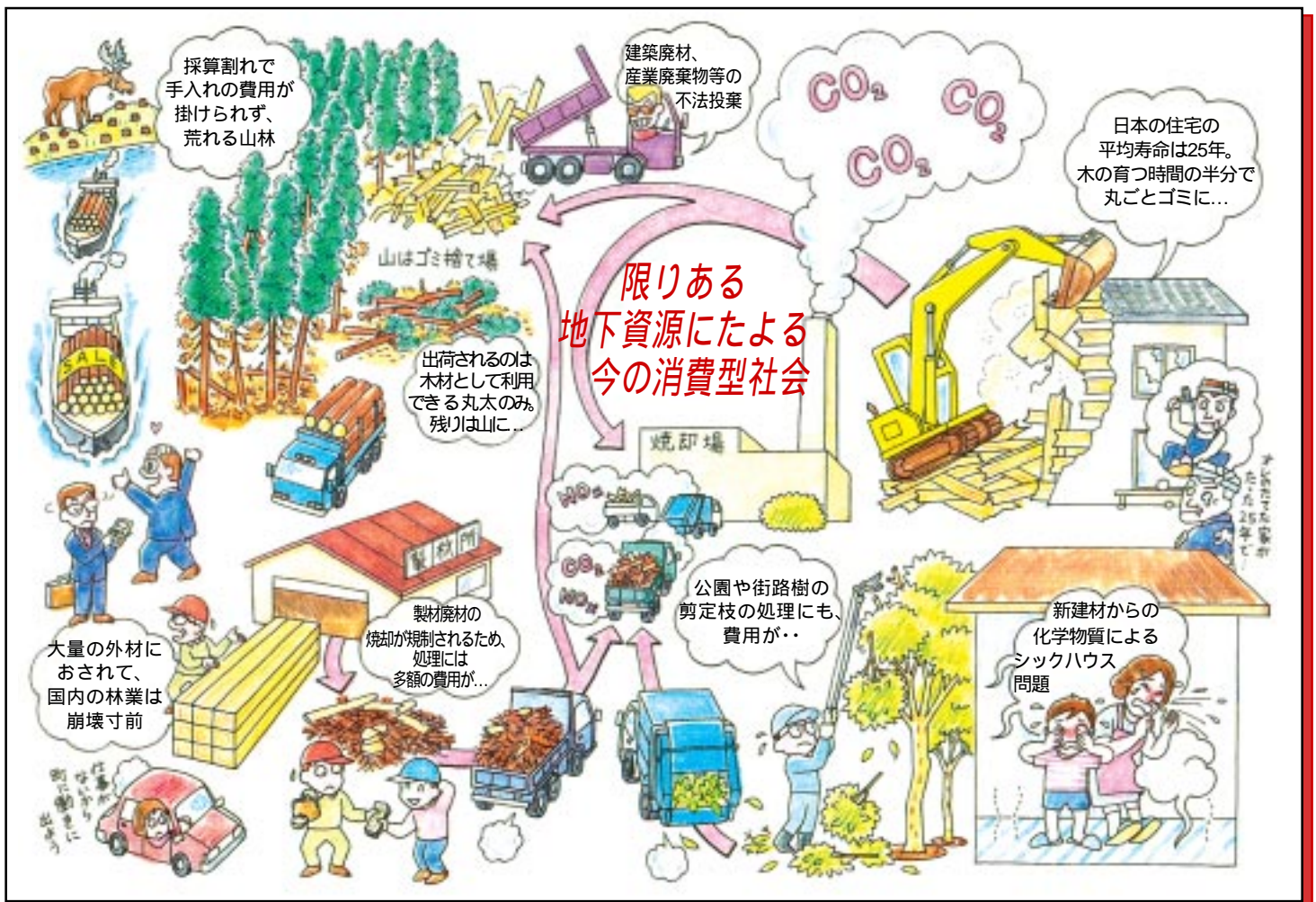
1. 更新できる再生可能な資源である
2. エネルギー密度が高く、貯留でき、利用しやすい
3. 燃焼するとき、公害の原因となる有害物質を発生しない
4. 灰などの燃焼残さも有効な資源となる
5. 樹木は植物の中で最も太陽エネルギーの受光率が高く、大きなストックを持っている
6. 日本は恵まれた気候条件の森林国で、復元力も強く、潜在能力が高い

化石燃料は有限

地球温暖化防止に貢献

利用は世界の趨勢

# バイオマスが変える生活環境。消費型社会から循環型社会へ。



この企画についてのお問い合わせは……

五日市社中 風舞台

東京都あきるの市乙津 993-2 〒 190-0714

稲木 清貴

Tel. 042-595-0050 (Fax 兼用)

ozinagi@sepia.ocn.ne.jp

松平 Room

Tel. 03-3335-2168 (Fax 兼用)

1in@mx5.nisiq.net

柏倉 Room

Tel. 042-539-7551 Fax. 042-539-7552

kashi@t-net.ne.jp